

第 6 次総合計画 前期評価調書

基本目標 1				次世代を担う人づくり				基本施策 1				ふるさと教育の推進						
1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																		
①「勝浦町」への誇りを醸成 ②学校教育と社会教育の連携 ③特色ある授業の推進	施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値		
			年度		年度		年度							年度		年度		
	指標 1	将来勝浦町に住みたいと思う中学生の割合		25. 0%	R2	50. 0%	R7	22. 7%	R7	○	45. 4%	指標 1	将来勝浦町に住みたいと思う中学生の割合		13. 8%	R6	40. 0%	R12
	指標 2	恐竜月間イベント参加者数		1209人	R2	5年間で7000人	R7	(R3～R7) 36, 495人	R7	○	521. 4%	指標 2	児童生徒の伝統文化活動参加者数		0人	R6	10人	R12
	指標 3	子ども阿波人形芝居教室への延べ参加人数		5人	R1	5年間で30人	R7	(R3～R7) 12人	R7		40. 0%	指標 3	地域資源(恐竜・特産品等)を活用した授業を受けた生徒の満足度		68%	R6	80%	R12
	指標 4	みかんや恐竜化石を活用した授業時数（小中学校の総合計時間数）		約40時数	R1	10時数増	R7	12時数増	R7		120. 0%							
2 事業の実施状況																		
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業								
(1) 恐竜事業		恐竜を核としたイベントを開催し魅力の発信		・ 恐竜フェスティバル（R7年度参加者9, 356人） ・ プロジェクトマネージャー（R3～R5）、地域おこし協力隊（R5～）の活動 ・ 学校等での取り組み（恐竜出前講座、高専・大学連携、恐竜学習ガイド作成） ・ 発掘作業協力、発掘現場周辺環境の保全対策 ・ 恐竜展示品作成						・ 恐竜事業（恐竜フェスティバル開催、発掘作業への協力、発掘現場周辺環境の保全対策、地域おこし協力隊の活動など） ・ 教育関連地方創生事業 ・ 小松島西高等学校勝浦校通学支援事業 ・ 伝統芸能文化継承事業（子ども人形教室の開催など） ・ 学校支援地域本部事業 ・ 社会教育事業 ・ 小学校事業、中学校事業 ・ 町内保育所ふるさと学習								
(2) 伝統芸能文化継承事業		勝浦町指定無形文化財である勝浦座の運営と、国指定重要無形民俗文化財である阿波人形浄瑠璃の信仰を図りつつ、後継者への伝統文化の継承、また、町民の豊かな文化生活の向上を目的とする。		伝統芸能文化継承事業では勝浦座が小中学生に対し指導する「勝浦町子ども阿波人形芝居教室」を開催。（R7年度参加者0人）														
3 基本施策全体の総合評価		恐竜専門家（地域おこし協力隊）の普及活動による恐竜事業の認知度向上や、学校の総合教育の時間を利用した特色ある授業の実施、人形浄瑠璃教室による伝統文化継承など多様な取り組みを行っているが、目的である子どもたちの地域への愛着醸成には繋がっていない。方向性は現状維持としながらも、町内の子供たちにとって身近なものとなるようPRする必要がある。																

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 1	次世代を担う人づくり	基本施策 2	学校教育の充実
--------	------------	--------	---------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①確かな学力の向上 ②豊かな心を育む教育の充実 ③健やかな体の育成 ④教育環境の整備 →後期計画の施策は、 ①確かな学力の向上 ②豊かな心と健やかな体の育成 ③教育環境の整備	指標 1	小中学校へのICT支援員の配置	—	R1	1人	R7	1人	R7	○	100%	指標 1	ICTを活用した授業を実施している教員の割合	90%	R6	100%	R12
	指標 2	学校支援ボランティア活動の延べ人数	254人	R1	5年間で1,300人	R7	(R3～R7)1,325人	R7		101.9%	指標 2	不登校・長期欠席児童生徒の割合	3.0%	R6	1.5%	R12
	指標 3	職場体験の体験職場数	23箇所	R1	5年間延べ事業所数120箇所	R7	125箇所	R7	○	104.2%	指標 3	LED化した学校施設（校舎）の割合	33%	R6	100%	R12
	指標 4	児童の「体力アップ100日作戦」達成率	90.25%	R1	100%	R7	100%	R7		100%						
	指標 5	学校特別教室への空調設備設置率	小学校25.9% 中学校40.0%	R1	小学校100% 中学校100%	R7	小学校100% 中学校100%	R7		100%						
	指標 6	「全国学力・学習状況調査」における平均正答率	県平均正答率未到達	R1	県平均正答率以上	R7	県平均正答率以上	R7		100%						
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的		主な事業内容と実施結果								後期計画で取り組む主な事業					
(1)ALT配置の継続	授業をはじめ、学校生活の中で外国人と触れ合う機会を提供し、生徒の外国語に対する意欲向上、またコミュニケーション能力の向上を図る。		JETプログラムにおけるALTの任期は、原則3年間（最長5年間）。現在配置の2名は、令和5年7月から雇用し4年目。								・ICT支援業務事業 ・学びサポーター配置事業 ・外国語指導助手配置事業 ・朝桐奨学賞、9か年皆勤賞 ・学校給食代替調理員配置事業 ・学校給食助成事業 ・小学校振興事業、中学校振興事業 ・学校設備維持管理事業 ・幼児教育事業 ・勝浦町高校生等修学費助成事業 ・教育関連地方創生事業					
(2) 高校生等修学支援事業	総合計画において勝浦町の弱みとされている、本町が抱える都市部に比較し、高校等への進学での不利な状況を克服するため、高校生等を養育する保護者等に高校生等修学支援金を支給する。		R5年度から実施。高校生等の保護者に高校生等1人当たり、年額10万円を交付。（R7年度は高校生等94名の保護者へ交付した。）													
(3) ICT支援業務	教職員のICT業務を支援する支援員を配置する。		ICT支援員の配置 1名													
3 基本施策全体の総合評価		学校への学びサポーター、ICT支援員の配置など教育環境の充実が図られており、学力向上につながっている。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 1	次世代を担う人づくり	基本施策 3	人権教育の推進
--------	------------	--------	---------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①人権教育、啓発活動の推進 ②人権問題に対する支援の体制整備	指標 1	勝浦町人権講演会の参加者数	270人	H30	5年間で800人	R7	(R3～R7) 296人	R7		32.9%	指標 1	年度内に開催した人権講演会・研修会の参加人数	249人	R6	300人	R12
	指標 2	人権関係機関の連携・対応マニュアル化	—	R1	完成	R7	未策定	R7		未達	指標 2	関係機関職員の人権研修受講率	80%	R6	100%	R12
2 事業の実施状況																
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業					
(1) 人権教育、啓発活動の推進		人権問題について、講演会・研修会の実施や人権問題に対する支援体制を整備することで、町民の人権に対する意識の向上を図る。		講演会の開催（年 1 回）							・ 人権啓発活動地方委託事業 ・ 人権啓発事業 ・ 勝浦会館運営事業 ・ 人権研修					
3 基本施策全体の総合評価		新型コロナウイルス感染症の影響で大規模の講演会が控えられていたため、人権講演会参加者数は目標値に達していない。今後も人権講演会・研修会への参加の呼びかけを強化する等、人権意識の向上に取り組む必要がある。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 1	次世代を担う人づくり	基本施策 4	文化・芸術・スポーツの振興
--------	------------	--------	---------------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度		年度	
	指標 1	阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバルin勝浦の参加者数	56人	R2	5年間で290人	R7	(R3～R7) 538人	R7		185. 5%	指標 1	発表会・文化祭等に参加した住民の割合	12. 8%	R6	20. 0%	R12
	指標 2	国・県・町の指定文化財数	26件	R1	30件	R7	26件	R7		86. 7%	指標 2	人形フェスティバル参加者の満足度	95%	R6	100%	R12
	指標 3	スポーツ優秀者、奨励者の表彰者人数	1人	R1	5年間で5人	R7	(R3～R7) 42人 (+5団体)	R7		840. 0%	指標 3	みんなの運動会に参加した住民の割合	10%	R6	20%	R12
	指標 4	社会体育施設の利用者数	75, 814人	R1	5年間で 380, 000人	R7	(R3～R7) 366, 987人	R7		96. 6%	指標 4	LED化したスポーツ施設（学校体育館・町民体育館）の割合	50%	R6	100%	R12
後期計画の施策は、①②は同じ ③地域に根ざしたスポーツ振興と人材育成 ④魅力あるスポーツ環境の構築											指標 5	空調設備を設置したスポーツ施設（学校体育館・町民体育館）の割合	0%	R6	100%	R12
2 事業の実施状況																
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業					
(1) 勝浦町文化祭・芸能大会		勝浦町文化協会所属団体の活動発表の場として、勝浦町文化祭と勝浦町芸能大会を開催する。		文化祭開催 年 1 回（文化祭は住民福祉センターにおいて、ボランティアフェスティバルと同日開催） 芸能大会開催 年 1 回							・ 伝統芸能保護事業 ・ 町スポーツ協会活動事業 ・ 星谷運動公園管理事業 ・ 社会体育館管理事業					
(2) 阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル		地域住民をはじめ多くの人に、国指定重要無形民俗文化財である阿波人形浄瑠璃に触れてもらう機会をつくり、地域の伝統芸能への関心向上と継承を図る。		勝浦座と町教育委員会が主催となり、秋頃に「阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバルin勝浦」を開催。（R7年度参加者116名）												
3 基本施策全体の総合評価		阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル参加者が目標値を実績が上回るなど、芸能への関心が向上傾向にあり、文化振興へ成果をあげている。社会体育施設の利用者数は、新型コロナウイルスの影響もあり、5年間の目標値には届かなかったものの、スポーツ優秀者、奨励者の表彰者人数は、目標値を大幅に超えており、地域に根ざしたスポーツ振興が進みつつある。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 2	住みたい、住み続けたいまちづくり	基本施策 1	道路交通網の整備
--------	------------------	--------	----------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①生活道路の整備 ②橋梁の長寿命化 ③県道の整備促進 後期計画の施策は、 ①生活道路の整備 ②橋りょうの長寿命化 ③林道の維持管理と森林環境譲与税の活用	指標 1	町道舗装率	89. 0%	R1	90. 0%	R7	89. 6%	R7		99. 6%	指標 1	道路補修箇所数（累計）	—	R6	150件	R12
	指標 2	勝浦病院周辺町道	—	R1	完成	R7	R5完成	R7		100. 0%	指標 2	道路舗装率	89. 6%	R6	89. 7%	R12
	指標 3	星谷橋架け替え及び周辺町道	—	R1	事業着手	R7	R3事業着手	R7	○	100. 0%	指標 3	橋りょう健全化率	91%	R6	97%	R12
	指標 4	生名東橋架け替え	—	R1	完成	R7	R4完成	R7		100. 0%	指標 4	星谷橋架け替え及び周辺町道	未完了	R6	完了	R12
	指標 5	橋梁健全化率	93. 0%	R1	97. 0%	R7	91. 2%	R7		94. 0%						
	指標 6	県道徳島上那賀線（中角工区）	—	R1	完成	R7	事業中	R7		未達						
	指標 7	県道徳島上那賀線（棚野工区）	—	R1	事業着手	R7	未着手	R7		未達						
	指標 8	県道徳島上那賀線（西岡工区）	—	R1	事業着手	R7	未着手	R7		未達						
	指標 9	県道阿南勝浦線（沼江バイパス）	—	R1	完成	R7	事業中	R7		未達						
	指標 1 0	県道新浜勝浦線（星谷工区）	—	R1	完成	R7	R5完成	R7		100. 0%						
	指標 1 1	県道新浜勝浦線（了仙寺工区）	—	R1	完成	R7	事業中	R7		未達						
2 事業の実施状況																
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業					
(1) 町単道路改良事業		町道・橋梁を改良し、通行の安全を図ること。		各区長に取りまとめ依頼、現地踏査 総合的に判断し、実施の可否を決定、測量設計し、予算化 前年度要望箇所の中から決定した実施箇所を整備 （棚野八石線）R5. 11. 15供用開始							・土木管理事業 ・道路橋りょう維持事業 ・町単道路改良事業 ・道路改良事業 ・星谷橋架け替え事業 ・橋りょう長寿命化事業 ・林道維持管理事業 ・徳島東部・吉野川流域森林管理システム推進協議会 ・森林航空写真更新業務					
(2) 橋りょう長寿命化事業		町が管理する橋梁261橋について、長寿命化を図り、安全性を確保する。		橋梁定期点検（R7年度79橋実施） 橋梁修繕（R7年度は、設計（今山岐木橋、生名野口橋）、工事（立川手洗橋、第2溝内橋、棚野立川第8橋、生名石垣橋）												
(3) 星谷橋架け替え事業		星谷橋は、架設後70年以上が経過した橋梁であり、主要部材の劣化が著しく進行していることから、大規模更新を行い道路の安全性を確保する。		道路設計業務R4. 4～R5. 3 橋梁設計業務R4. 7～R6. 3 用地測量業務R5. 4～R6. 3 一般補償調査業務R5. 6～R6. 3 不動産鑑定業務※右岸側R5. 11～R6. 3 不動産鑑定業務※左岸側R7. 7～R7. 12												
3 基本施策全体の総合評価		橋梁は定期点検で、R元年度より更なる老朽化により判定区分Ⅲの橋梁が増えたが、長寿命化事業実施でR4年度32橋がR5年度では28橋、R6年度では24橋、R7年度では23橋となるなど、取組は進んでいる。道路改良事業は計画どおり行われていることや、星谷橋の架け替え事業は着実に行われていることから、現状維持し事業を進める。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 2				住みたい、住み続けたいまちづくり				基本施策 2				道路交通網の整備						
1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																		
施策		指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値		
				年度		年度		年度						年度		年度		
①公共交通の維持 ②交通困難者対策		指標 1	地域公共交通体制の整備	—	R1	体制構築	R7	体制構築	R7	○	100.0%	指標 1	公共交通（路線バス等）の運航維持		—	R6	維持	R12
												指標 2	福祉移送事業 のべ利用人数		546人	R6	560人	R12
2 事業の実施状況																		
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業							
(1) 公共交通の維持		日常生活での移動を支える交通手段である民間バス路線を維持するため、公共交通の利用を促進し、生活利便性を確保する。		・負担金の支出（路線維持のための経済的支援） ・県主催「公共交通機関利用促進キャンペーン」の周知→チラシの配布、周知等 ・R2年度に坂本・与川内-横瀬西区間が廃線となった以降、路線維持できている。							・公共交通事業 ・徳島バス勝浦線支援事業 ・交通困難者対策事業 ・福祉移送事業 ・高齢者移動支援助成事業							
(2) 地域公共交通体制整備事業		交通空白地の解消に向けた交通施策を実施することにより、交通困難者の交通手段及び利便性を確保する。		・庁内検討委員会による体制整備に向けた方向性の決定 委員会2回開催 ・路線バス廃止区間移動支援助成事業の実施。（R7年度の申請者36名、利用枚数748枚） ・公共交通移動支援助成（実証実験）事業（R5.10月～R7.3月実証実験。）の実施。（R7年度の申請者31名、利用枚数476枚） ・R7年度からは、上記2事業を一つの事業として実施。体制構築が完了。														
(3) 福祉移送事業		地域で自立した生活が送れるよう、社会生活上不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加のための外出の際の移動を支援し、地域における自立生活と社会参加を促すとともに福祉の増進を図る。		・週3回運行。 ・R7年度の登録人数 70名、延べ利用人数 537名														
3 基本施策全体の総合評価		公共交通の維持と並行して、高齢者等交通困難者対策も含めた一定の地域公共交通体制を構築し、令和7年度から運用することができた。引き続き、路線バスをはじめとする公共交通の運航維持や交通困難者対策に取り組む。																

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 2		住みたい、住み続けたいまちづくり				基本施策 3		効果的な土地利用の推進										
1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																		
①優良農地の保全、確保 ②土地利用の推進 ③公園の整備	施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価 指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値		
				年度		年度		年度						年度		年度		
	指標 1	地籍調査事業の推進	20.0%	R1	40.0%	R7	47.5%	R7				118.8%	指標 1	農地の有効利用率	9.2%	R6	12.0%	R12
	指標 2	宅地分譲区画数	7区画	R1	14区画	R7	10区画	R7	○			71.4%	指標 2	宅地造成区画数（累計）	11区画	R6	15区画	R12
	指標 3	既存の農村公園の点検と見直し	—	R1	100%	R7	100%	R7		100%	指標 3	道の駅周辺入込客数	25万 3千人	R6	26万 8千人	R12		
2 事業の実施状況																		
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業								
(1) 地籍調査事業		地籍（土地の所有者、境界、現況等）の明確化		・ 調査完了（登記手続中含む）地区は、棚野・中山・生名・坂本・久国 ・ 調査中地区は、星谷						・ 農業委員会運営事業 ・ 農業振興事業 ・ 柑橘園地利用最適化推進事業 ・ 経営所得安定対策事業 ・ 宅地造成事業 ・ 地籍調査事業 ・ 公園整備事業								
(2) 宅地造成事業		町が宅地を整備し、分譲することにより移住定住を推進し、人口減を抑制する。		・ R7 年度実績 造成地販売 1 区画（横瀬上川原団地、残り 1 区画）														
(3) 星谷運動公園リニューアル事業		星谷運動公園を住民の憩いの場として、維持していくためにリニューアルを行う。		・ 遊具や看板の設置、トイレLED化の実施														
3 基本施策全体の総合評価		地籍調査事業は計画通り成果をあげている。今後は、事業量を増やし早期完了に務める。農村公園については点検と見直しが完了した。今後の管理方法や公園廃止の検討を進める。																

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 2	住みたい、住み続けたいまちづくり	基本施策 4	上・下水道の整備
--------	------------------	--------	----------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①簡易水道の普及及び促進 ②下水処理施設の普及及び促進 ③適切な施設の維持管理	指標 1	簡易水道普及率	87. 8%	R1	88. 5%	R7	89. 7%	R7		101. 4%	指標 1	簡易水道普及率	89. 1%	R6	90. 0%	R12
	指標 2	勝浦町汚水処理普及率	55. 8%	R1	70. 1%	R7	68. 0%	R7		97. 0%	指標 2	簡易水道施設耐震化率	24. 2%	R6	31. 7%	R12
	指標 3	水道管耐震化率	7. 0%	R1	9. 0%	R7	8. 5%	R7		94. 4%	指標 3	汚水処理人口普及率	66. 2%	R6	84. 3%	R12
	指標 4	水道配水池耐震化率	9. 0%	R1	14. 5%	R7	22. 2%	R7		153. 1%	指標 4	有収率の増加	67. 3%	R6	70. 0%	R12
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的		主な事業内容と実施結果								後期計画で取り組む主な事業					
(1) 西岡地区水道改良事業・山田未普及地域解消事業	西岡地区の老朽化した水源地・配水池の改修及び、普段から断水が頻繁におこり生活に支障がある水道未普及地域（山田地区 1 9 戸）への対応（新規加入）		事業概要 令和3年度 経営許可申請、令和4年度 用地買収等・解体設計・地すべり調査、令和5年度 実施設計・講義堂解体工事、令和6年度 配水管工事、送水管工事、令和 7 年度 浄水設備・配水設備工事・給水工事								・簡易水道施設整備工事（中山横瀬地区、棚野久国地区、坂本地区、掛谷・沼江地区） ・水道未普及地域解消事業 ・合併浄化槽設置整備事業 ・農業集落排水処理施設機能強化事業 ・小松島市外三町村衛生組合事業 ・水道管理事業					
(2) 勝浦町浄化槽設置整備事業	町民の公衆衛生向上と生活環境保全、自然環境保護を目的とし、町内の汚水処理普及率の向上を図る。		実績（令和 3 年度から令和 7 年度） （内訳：5人槽12基、7人槽30基、10人槽2基、単独撤去38基、くみ取り撤去5基、宅内配管38箇所）													
(3) 中山横瀬簡易水道改良事業	勝浦町簡易水道 中山横瀬地区の老朽化した水道施設（管路）を更新し、住民に水を安定供給する。		工事实績（すべて布設替工事） ・ R3 上川原区域 PE管 φ75 L=546m ・ R4 檜淵区域 DCIP φ75 L=330m ・ R5 神谷区域 DCIP φ50他、L=711m ・ R6 中村区域 DCIP φ75他、L=266m ・ R7 檜淵区域・上川原区域 DCIP管 φ150、L=170m													
3 基本施策全体の総合評価		水道の普及率や耐震化率などは、ほぼ目標値を達成しているが、汚水処理普及率は、令和 3、4 年度に実績が少なかったため目標値を達成できていない。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 2	住みたい、住み続けたいまちづくり	基本施策 5	移住・定住及び住宅施策の推進
--------	------------------	--------	----------------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
	指標 1	移住者数（UIJターン）	60人	R1	5年間で400人	R7	(R3～R7) 364人	R7	○	91.0%	指標 1	移住者数（U I J ターン）	64人	R6	80人	R12
	指標 2	移住相談件数	87人	R1	5年間で500人	R7	(R3～R7) 272人	R7	○	54.4%	指標 2	結婚支援制度利用数	2人	R6	8人	R12
	指標 3	移住コーディネーター数	4人	R1	10人	R7	7人	R7	○	70.0%	指標 3	空き家利用率（空家バンク登録の賃貸物件）	53%	R6	70%	R12
	指標 4	マリッサとくしまマッチング会員登録数	9人	R1	40人	R7	8人	R7	○	20.0%	指標 4	危険空き家減少数（除却補助件数・累計）	51件	R6	80件	R12
	指標 5	空き家バンク登録数	44件	R1	60件	R7	76件	R7	○	126.7%	指標 5	町営住宅の長寿命化計画実施率	0%	R6	39%	R12
	指標 6	老朽危険空き家除却件数	12件	R1	35件	R7	60件	R7		171.4%	指標 6	木造住宅の耐震診断実施戸数（累計）	266戸	R6	326戸	R12
	指標 7	町営住宅の改修	1 件	R1	5年間で3件	R7	(R3～R7) 3件	R7		100.0%	指標 7	高齢者世帯への家具固定・減災化対策実施戸数（累計）	9戸	R6	27戸	R12
指標 8	木造住宅耐震化事業実施件数	36件	R1	55件	R7	58件	R7		105.5%							
2 事業の実施状況																
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業					
(1) 定住促進賃貸住宅家賃助成		転入世帯、子育て世帯及び夫婦世帯の町内定住の促進		・ 転入世帯、子育て世帯及び夫婦世帯の町内定住を促進するため、町内への定住を前向きに考えている子育て世帯及び夫婦世帯に対し、民間賃貸住宅の家賃の一部助成 ・ R7年度の対象世帯 11世帯（内 新規4世帯 継続5世帯 助成終了2世帯）							・ 定住促進賃貸住宅家賃助成事業 ・ 住宅新築・改修支援事業 ・ 勝浦町地域活性化協会事業 ・ 特定地域づくり事業協同組合事業 ・ 地方創生関連事業 ・ 出会い応援事業 ・ 空き家活用による移住促進事業 ・ 老朽危険空き家除去支援事業 ・ 空家等実態調査事業 ・ 公営住宅事業 ・ 木造住宅耐震事業					
(2) 住宅新築・改修支援事業		住宅新築や既存住宅のリフォームを支援し、住民の町外への流出抑制及び町外からの転入人口の増加に繋げる。		R7年度実績 ・ 移住・定住支援住宅新築補助金（住まい応援事業）1戸 ・ 移住・定住住宅改修補助金（リフォーム補助金）28戸、4戸（スマート化上乘せ分）												
(3) 結婚支援事業		独身者に出会いの場の機会創出や結婚に関する情報の提供を行い、移住・定住の促進につなげる。		R7年度実績 ・ 個人向けの「マリッサとくしま」のマッチング会員登録費用全額補助 1名 ・ 婚活イベント 1回開催												
(4) 空き家活用による移住促進事業		町内の空き家を移住希望者に紹介することで、町への移住を促進する。		R7年度実績 ・ 空き家調査数 4件 ・ 空家バンク新規登録物件数 6件 ・ 空き家バンク成約件数 6件（売買5件、賃貸1件） ・ 移住フェアへの参加 4回												
(5) 老朽危険空き家除却支援事業		危険な空き家等の除却費用の一部を助成することにより、空き家の放置を抑制し、地域の安全を高める。		R7年度実績 ・ 空き家判定業務 12件 ・ 老朽危険空き家除却補助金 5件												
(6) 木造住宅耐震事業		地震発生時の被害を軽減するために住宅の耐震化、減災化を推進する。		R7年度実績 ・ 耐震診断 13戸 ・ 耐震補強計画 12戸 ・ 耐震改修 7戸 ・ ブロック塀建替え 1戸 ・ 減災化 2戸												
3 基本施策全体の総合評価		移住者数は年間を通じて一定の数があるが、特徴としては、県外からよりも県内他市町からの移住が多く、3市隣接の立地条件などが一つの要因と考えられる。 また移住相談についても県内からの相談が多く、イベント等で町を訪れたことがきっかけで移住を考え、併せて住居や仕事についても同時に相談を受ける場合もあり、相談者の要望に沿った対応を行っている。 定住対策として効果をあげている家賃助成については支援終了後も町に住み続ける割合が高いため今後も継続する。 空き家の登録については、件数が増えてきているものの、個々のニーズは多岐に渡るため年間の成約件数は伸び悩んでいる。更なる空き家の掘り起こしを進め、全国版空き家バンクへの掲載で空き家の情報発信とマッチングを適宜行い空き家の利活用を促進する。 老朽危険空き家除却も進んでおり、住宅改修支援事業は好評で定住対策として一定の成果をあげている。 結婚支援事業は定住対策だけでなく少子化対策に大きくつながるため「マリッサとくしま」のより効果的な活用方法の検討が必要である。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 2	住みたい、住み続けたいまちづくり	基本施策 6	循環型社会の推進
--------	------------------	--------	----------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①環境へ配慮する意識の醸成 ②不法投棄、不法焼却の撲滅 ③広域処理体制構築の継続 ④景観保全の推進	指標 1	住民一人当たりの可燃ごみ排出量	201kg	R1	179kg	R7	195kg	R7		91.8%	指標 1	住民一人1日当たりの可燃ごみ排出量の減少	522.4 g	R6	500.0 g	R12
	指標 2	不法投棄、不法焼却相談件数	10件	R1	毎年7件以下	R7	5件	R7		100.0%	指標 2	リサイクル率の向上	15.85%	R6	18.00%	R12
	指標 3	広域処理体制構築の継続	—	R1	着手	R7	維持	R7		100.0%	指標 3	広域処理体制の維持	—	R6	維持	R12
											指標 4	環境学習の実施回数	3回	R6	10回	R12
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業							
(1) 粗大ごみ回収事業	町内での粗大家庭ごみの適正処理		3月・6月・9月に星谷運動公園で粗大ごみ回収を実施						・廃棄物再生利用等推進事業 ・一般廃棄物処理事業 ・動物愛護啓発事業 ・不法投棄監視パトロール事業 ・広域ごみ処理事業 ・勝浦町環境美化花づくり事業 ・環境保全事業 ・リサイクルの推進 ・環境学習の実施							
(2) 廃棄物再生利用等推進事業	住民によるごみの分別啓発、収集施設の管理清掃活動の支援や生ごみ処理機の購入補助制度により、家庭から排出されるごみの減量化・資源化を図る。		R7年度実績 ・生ごみ処理容器購入補助金 12台 ・電気式生ごみ処理機購入補助金 5台 ・廃棄物資源化交付金 地区自治会に対して交付 16地区													
(3) 不法投棄監視パトロール事業	監視パトロールを実施し、未然に不法投棄を防止することで、環境保全の推進を図る。		・毎月1回、8月と12月は不法投棄防止強化月間のため2回以上実施 ・看板設置													
(4) 残土処理場整備事業（建設発生土対策）	公共工事により発生する残土の処理場を整備することにより、残土処理の適正化を図る。		R7年度実績 ・建設発生土仮置き場指定（棚野ストックヤード、沼江東） ・沼江バイパス山腹崩壊箇所の設計終了しR7.5～対策工事開始。発生土については、①公共工事への流用、②沼江東残土場へ。													
(5) 勝浦町環境美化花づくり事業	花づくりによる町内の環境美化を推進する。		・花づくりをしているボランティアで活動する団体に対し、花の種子や苗、肥料等の資材を購入する事業費の一部を助成 ・R7年度実績の申請団体 9団体													
3 基本施策全体の総合評価			ゴミの減量化については、目標値には届かなかったものの年々減量してきている。可燃ゴミの処理については、小松島市との広域処理を継続している。併せて基本施策である「循環型社会の推進」に向けた取り組みとして、小型家電や使用済みハブラシ回収などリサイクル率の向上に向けた新たな取り組みを進めた。今後もリサイクルに向けた新たな取組みにより、減量化・再資源化に積極的に取り組む必要がある。													

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 2	住みたい、住み続けたいまちづくり	基本施策 7	消防・救急体制の整備
--------	------------------	--------	------------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①消防団の組織維持・強化 ②消防救急体制の充実	指標 1	広域常備消防化	—	R1	協定締結	R7	推進協議会 設立	R7	○	未達	指標 1	若者（39歳以下）及び女性の消防団員 在籍率	43%	R6	50%	R12
	指標 2	女性消防団員数	—	R1	5人	R7	0人	R7		未達	指標 2	救急救命講師派遣回数	15件	R6	20件	R12
	指標 3	救急救命講習	11件	R1	5年間で60件	R7	76件	R7		126.7%						
2 事業の実施状況																
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業						
(1) 広域消防化		将来にわたり消防力の維持・強化を行っていくため非常備消防の解消を目指す。		県東部地域における消防体制のあり方検討会、及び同作業部会の中でR8年度までに3町村の非常備解消を目指す方法が示されている。 R7.9月に消防広域化推進協議会が設立され、R8.3月には徳島県消防広域化基本構想が策定された。R8年度から具体的協議に入り、R9年度中に徳島県消防広域化推進計画改訂予定。						・ 消防団事業 ・ 救急事業						
(2) 救急体制の充実																
3 基本施策全体の総合評価		広域消防化は非常に難しい課題であるが、粘り強く慎重に進めていく必要がある。消防救急体制について、救急救命業務委託による救急救命士による救急患者輸送は滞りなく行うことができている。 なお、女性消防団については、令和8年6月に12名の団員で発足した。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 3	個性と魅力あふれるまちづくり	基本施策 1	勝浦ブランド（阿波かつうら）の推進
--------	----------------	--------	-------------------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①ブランド化の推進 ②6次産業化の推進 ③関係人口の増加	指標 1	オレンジファクトリーを利用した商品化数	—	R1	5品	R7	(R3～R7) 12品	R7	○	240%	指標 1	阿波かつうらブランド商品売り上げ（道の駅取り扱い）	4,279千円	R6	8,000千円	R12
	指標 2	関西方面における「勝浦熟成みかん」の取り扱い店舗数	—	R1	50店舗以上	R7	18店舗	R7	○	36.0%	指標 2	6次産業化導入支援（累計）	0件	R6	5件	R12
	指標 3	道の駅と産直の連絡協議会の定期開催	—	R1	5年間で10回以上	R7	(R3～R5) 6回	R7		60%	指標 3	SNS（観光ツーリズムインスタ）フォロワー数	1,834件	R6	3,000件	R12
	指標 4	ふるさと住民票の登録者数	47人	R1	200人	R7	事業終了61人	R6		30.5%						
	指標 5	体験イベント参加者数	510人	R1	5年間で3,000人	R7	(R3～R7) 11,940人	R7		398%						
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的	主な事業内容と実施結果								後期計画で取り組む主な事業						
(1) 阿波かつうらブランド化事業	地域固有の資源を活用した商品・サービスの高付加価値化による地域ブランドづくりによる地域活性化	・アドバイザーを招へいし、中学校商品開発（ふるさと学習） ・みかんを含む地域産品の販路拡大 ・道の駅、産直、地域活性化協会及び町内商工の連携強化を図り、道の駅エリアを特産品販売や情報発信の拠点化とする。 ・自走できる組織体制づくり（阿波かつうらブランド推進協議会） ・阿波かつうらブランド認証 ・地域資源を活用した体験コンテンツオンラインツアー（モニターツアー） ・交流人口拡大イベント実施（道の駅マルシェ、ARイベント）								・ふるさと納税 ・阿波かつうらブランド事業 ・市場販売戦略展開事業 ・農業関連地方創生事業 ・勝浦みかん生産販売促進協議会運営事業 ・道の駅事業 ・6次産業化推進事業 ・かんきつテラス徳島内勝浦町借受施設運営 ・全国かつうらネットワーク会議交流事業 ・ふるさと会交流事業						
(2) 市場販売戦略展開事業	都市部消費地において2月・3月は、「阿波かつうら」「勝浦熟成みかん」の時期であるという消費者の認知度を向上させる	R2～R6年度までは、関西・関東方面の市場への出荷と駅広告を実施していたが、R7年度からはSNS配信に切り替えて事業を実施。 ・R5年度には、「阿波かつうら熟成みかん」の名前での店舗販売ブースを確保（マルエツ系4店舗、相鉄ローゼン系3店舗、東急ストア系5店舗） ・Yahoo! ブランドパネル（横浜市、ビューアブルインプレッション数265,649回、ビューアブルクリック率1,930回） ・R7年度のインスタフォロワー数2,245件、リーチ数46,772件。														
(3) ふるさと納税	ふるさと納税を通じて、勝浦町及び町特産品の周知・PRするため、ポータルサイトの活用や協力業者等と連携して返礼品数の増加・新開発などを推進する。	R7年度実績 ・ポータルサイト数 9サイト ・寄附額 45,284千円（うち一般寄附1,065千円） ・寄附件数 2056件（うち一般寄附14件）														
(4) 6次産業化推進事業 （かんきつテラス徳島内勝浦町借受施設運営）	オレンジファクトリーを営業許可基準充足施設化し、営業許可取得者を増やし、地場産品を活用した商品化を目指す。	R3～R7年度累計 ・営業許可取得者 2名 ・商品開発 12件														
3 基本施策全体の総合評価		市場販売戦略展開について、計画当初は、関西方面への出荷量増を目標としていたが、R4年度から関東方面での取り組みを強化したことから目標達成状況は芳しくないものの、県外への出荷量は増えている。今後は、SNS等による情報発信を推進していく。 阿波かつうらブランド事業において、町内事業者の既存商品の見直しやパッケージのリニューアル、また中学生による商品開発を行い、ふるさと納税の返礼品を増やすなど取り組みを行った。今後も新たな商品開発を行い、販売においては道の駅店頭やECサイト、各種交流事業・町内外でのイベント時においてのPRなど継続して取り組んでいく。 令和4年度からリニューアルしたふるさと納税は、経費率の見直しなど今後の国の制度改正によって寄附額の減少も想定されるが、徳島県全体でも寄附額向上へ新たな取り組みを行っており、今後も魅力ある返礼品の開拓や見直しなどに継続して取組む。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標3	個性と魅力あふれるまちづくり	基本施策2	農業の振興（→後期計画では、農業と林業を統合し、農林業の振興とする）
-------	----------------	-------	------------------------------------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価 指標(KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①農業経営の支援 ②農業担い手の確保・育成 ③農業インフラの維持・整備 後期計画では、 ①②③は同じ ④森林環境の保全と活用 を追加	指標 1	高糖系温州みかん新植・改植・補植 用苗木数量	4,000本	R1	4,500本	R7	1,789本	R7		39.8%	指標 1	中山間におけるドローン防除率	—	R6	30.0%	R12
	指標 2	認定農業者数（認定新規就農者を含 む）	25人	R1	35人	R7	42人	R7		120.0%	指標 2	認定農業者数（累計）	31人	R6	35人	R12
	指標 3	農地利用権集積計画に基づく集積面 積	63ha	R1	93ha	R7	148ha	R7		159.1%	指標 3	農地集積率（担い手に農地が集積して いる割合）	25.7%	R6	31.5%	R12
	指標 4	有害鳥獣捕獲従事者数	49人	R1	60人	R7	49人	R7		81.7%	指標 4	森林明確化実施済面積	915ha	R6	1,000ha	R12
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業							
(1) みかん収穫求職者向け広報事業	勝浦町の基幹産業である柑橘栽培における季節性 労働力の確保		・ アルバイター20名、募集農家13件、マッチング12名 ・ マッチングアプリ20名、募集農家1件、マッチング15名						・ 農業振興事業 ・ 豚熱、鳥インフルエンザ等防疫対策事業 ・ 畜産事業 ・ 日本型直接支払制度事業 ・ みかん収穫求職者向け広報事業 ・ 有害鳥獣対策事業 ・ 農村漁村未来創生事業 ・ 勝浦いきいきファーマーズ運営事業 ・ 人・農地プラン整備事業 ・ 新規就農支援事業 ・ スマート農業実証事業（温州みかんドローン防除） ・ 広域農道整備事業 ・ 農免農道整備事業 ・ 土地改良事業 ・ 県単土地改良事業 ・ 農業水路等長寿命化・防災減災事業 ・ 農村環境改善センター運営事業 ・ ほ場整備事業 ・ 林道維持管理事業 ・ 立川地区水源涵養用地購入事業 ・ 林業振興事業							
(2) 有害鳥獣対策事業	有害鳥獣による農作物被害を防ぐため。		R7年度実績 ・ 捕獲頭数（イノシシ、シカ、サル、タヌキ他小動物、カラス）1,789頭													
(3) 新規就農支援事業	新規就農者への支援を行い、自立した農業者の育 成を目指す。		新規：1名 継続：1名 就農報告：2名													
(4) スマート農業実証事業（温州みかんド ローン防除）	実際に営農しているみかん農家を対象にドローン 防除を実施することにより、ドローン防除の時間 やコスト、効果及び普及に向けた課題を検証し、 ドローン防除普及の契機とする。		R3年度からの実証事業にて「ドローン防除による防除効果」「町内園地における位置情報 の取得」「県外事業者のドローン防除請負運用」など、事業の見通しが立ち、R6年度に勝 浦町ドローン防除推進協議会を設立し、勝浦町版ドローン防除システムを作成した。R7年 度に県単事業活用し、JA東とくしまがドローン購入し、勝浦アグリネットにリース。ド ローン操縦するオペレーター20名以上養成。R8年度からドローン防除請負を開始する。													
(5) 農地中間管理事業	担い手への農地集積・集約化を推進し、農業の生 産性を高めるため		R6年度末「人・農地プラン」をベースに更に農地の総合的・効率的な利用の姿を明確にする ため地域で話し合い、目標地図を作成し、地域計画を策定。 R7年度に2回変更を実施。													
3 基本施策全体の総合評価		労働力確保のためバイトアプリの導入を推進し、導入者からは好評を得ている。今後は、ドローン防除を推進し、農作業の省力化に取り組んでいく。認定農業者も順調に増えているが、引き続き、後継者育成や農地集積に努め ていく必要がある。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標3	個性と魅力あふれるまちづくり	基本施策3	林業の振興（→後期計画では、農業と林業を統合し、農林業の振興とする）
-------	----------------	-------	------------------------------------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																			
①森林環境譲与税の活用による林業振興 ②森林環境の保全と活用	施策		指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価 指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値		
					年度		年度		年度				年度		年度		年度		
	指標 1		森林経営計画に基づく間伐の実施		30ha		40ha		82. 81ha										
指標 2		林道路線数		22路線		23路線		22路線				95. 7%							
2 事業の実施状況																			
事業名		事業目的			主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業							
(1) 放置林環境整備事業（とくしま森林バンク）		森林を手放したい、寄附したい、森林管理を市町村に委託したいといった森林所有者の町への要望の拡大に応えること。			公益社団法人とくしま森林バンクに加入（森林所有者自らが管理を行うことが困難な森林について、森林の管理受託又は取得を行い、森林経営計画への樹立や編入により間伐等の森林整備を実施し、併せて森林吸収限としての整備を行う。）														
(2) 林道維持管理事業		林道の維持管理を行うことにより、森林環境を保全する。			・土砂等取除き業務等委託 ・林道立川吉ヶ平線維持補修工事 ・林道上東婆羅尾線維持補修工事														
3 基本施策全体の総合評価		林道の新規路線整備は難しいが、維持管理を行うことで間伐の実施がスムーズに行えている。 森林環境譲与税を活用し、森林バンクへの委託により、森林所有者への意向調査や間伐等の実施による森林環境保全に寄与している。																	

第 6 次総合計画 前期評価調書

基本目標 3	個性と魅力あふれるまちづくり	基本施策 4	商工業の振興
--------	----------------	--------	--------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①後継者問題への支援、町内起業への支援 ②企業誘致の推進 ③新たな産業の振興	指標 1	空き店舗の利活用件数	—	R1	2件	R7	2件	R7	○	100%	指標 1	令和 6 年度対町内法人廃業抑制率	—	R6	100%	R12
	指標 2	サテライトオフィス誘致件数	—	R1	3件	R7	2件	R7	○	66. 7%	指標 2	令和 6 年度対商工会の会員数維持	—	R6	100%	R12
	指標 3	新規創業者数	6件	R1	10件	R7	13件	R7		130%	指標 3	企業版ふるさと納税受入件数（累計）	0 件	R6	1 件	R12
											指標 4	新規起業業者数（累計）	—	R6	5 人	R12
2 事業の実施状況																
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業					
(1) 起業支援事業（阿波かつうら未来応援事業）		町内で新規に起業する者又は事業を拡大、継承する者を支援し地域活性化につなげる。		・ 以前の「杉の子支援事業」の終了に伴い新たな起業支援事業を構築 ・ 町内で新規開業や事業承継する方への支援補助金の財源をふるさと納税のサイトを活用したクラウドファンディングで募集 R7実績 2 件採択 民泊施設 2 軒オープン							・ 阿波かつうら未来応援事業 ・ 小規模事業者経営環境整備事業 ・ 企業版ふるさと納税					
(2) 商工会との連携		商工会との連携により町内消費喚起と地元商店街の活性化を図る。		・ 小規模事業者の経営環境整備事業補助金 ・ 商工会補助金 運営補助（金融・経営・税務相談等、人材育成・後継者支援） ・ 企画事業（商店街活性化対策、消費喚起、需要拡大等） ・ プレミアム商品券発行 ・ 利子補給補助金												
(3) 勝浦町サテライトオフィス誘致促進プロジェクト		サテライトオフィス等の進出による関係人口・移住者の増加及び地域の活性化		・ かんきつテラスのシェアオフィスの活用 （進出支援を受けて 2 社進出、内 1 社が町内支店設置）												
3 基本施策全体の総合評価		計画策定当初からコロナ禍の影響を受けて、その後の物価高騰や原油価格の高騰、また資材の不足など事業者をとりまく環境が厳しいものとなった。 更に最低賃金引上げなど事業継続に大きな影響が続いてきたことから、町内事業者支援のため商工会と連携し小規模事業者支援策を実施し今後も継続して支援を行う。 新たに構築した起業支援制度においては、空き家の利活用に繋がったことから今後も継続するとともに、課題としてある空き店舗の利活用を進めるため、全国版空き家バンクでの空き店舗情報の紹介など発信を強化する。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標3	個性と魅力あふれるまちづくり	基本施策5	観光の振興
-------	----------------	-------	-------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①町の魅力の醸成 ②観光客受入環境の整備 ③広域連携の推進	指標 1	フォトスポット設置箇所	—	R1	5箇所	R7	7箇所	R7	○	140%	指標 1	道の駅物産販売売上高	17,500千円	R6	20,000千円	R12
	指標 2	常時体験可能な観光コンテンツ数	—	R1	5年間で3件	R7	3件	R7	○	100%	指標 2	道の駅ひなの里かつうら入込客数	9,172人	R6	12,000人	R12
	指標 3	モニターツアーの実施回数	1回	R1	5年間で5回以上	R7	5回	R7	○	100%	指標 3	町外施設等で広域連携してPRした活動数	5回	R6	10回	R12
	指標 4	主要観光施設の利用者数	22,439人	R1	5年間で125,000人	R7	5年間累計124,699人	R7	○	99.8%						
	指標 5	観光関連の広域連携事業数	—	R1	2件	R7	1件	R7		50.0%						
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業						
(1) 映えるフォトスポット事業	観光資源の再確認と、観光・交流人口の増加を図る。		・ 恐竜ARイベントに関連したスポット（AR、かくれ恐竜など）（期間限定） ・ 道の駅トイレ壁面に大学生のアートパフォーマンス実施（令和4年度から継続） ・ ひまわり畑、コスモス畑フォトスポット（道の駅周辺、期間限定） ・ 道の駅看板リニューアル							・ 阿波かつうらブランド化事業 ・ 観光推進事業（広域観光・インバウンド受入協議会事業） ・ 観光施設管理 ・ 勝浦町地域活性化協会連携、地域活性化センター事業 ・ 国内外誘客推進事業 ・ 広域連携関連事業 ・ にっぽん恐竜協議会						
(2) 道の駅事業	道の駅「ひなの里かつうら」を適正に管理運営し、地域情報の発信、地域特産品の展示販売等により地域振興を図り、また地域観光交流促進による観光振興を行うことで地域活性化を行う。		・ 道の駅マルシェ（町制70周年記念）、15周年祭実施（来場4000人） ・ 地元高校とのコラボ（さつまいも栽培・収穫） ・ 阿波かつうらブランド協議会事務局 ・ ふるさと納税代行事業 （情報発信：各種メディア掲載27件、HP訪問者数49,533人 Instagramフォロワー数1,183人）													
(3) にっぽん恐竜協議会	先進地の取り組み事例などを参考にし、今後の化石を使った町おこしなどの活用方法などについて模索する。		・ 総会に出席し会員自治体から事業取り組みの紹介や情報交換、イベントの相互周知を実施（全国11自治体加盟）													
(4) 国内外誘客推進事業	アフターコロナの需要回復を見据え広域での観光客誘致に取り組む		・ 観光専門人材配置し観光系の情報発信 1名 （観光Instagramフォロワー数 R7.3現在2,228名） ・ 小松島市・勝浦の広域ファムツアー実施（テーマ「観光」×「農業」） ・ インバウンド受入協議会（イベント時期の受入れや体制整備等）													
(5) ふれあいの里さかもと運営事業	自然環境、景観、文化及び歴史等の多様で豊富な地域資源を生かし、地域の活性化、発展振興を目的とする。		・ コロナ禍以降の利用者減少、収益の減少、施設老朽化、運営団体の高齢化などの理由から令和7年9月末で通常営業終了													
(6) 広域連携関連事業	イーストとくしま観光推進機構等と連携し、広域的な観光コンテンツの製作を行うことで、交流人口の増加や圏域の活性化を図る。		・ 大阪関西万博の徳島県ブースへ出展し町のPRと物産販売実施 ・ 四国大学連携事業で町内団体イベントへのボランティア協力など要請 ・ イーストとくしま連携ツアー1回実施 ・ 徳島県連携の韓国便到着時のPR活動2回実施 ・ 全国勝浦ネットワークによる交流事業、災害時のふるさと納税代理寄附の協定締結等													
3 基本施策全体の総合評価		計画当初はコロナ禍で、積極的な取り組みができない状況から情報発信などの整備を行った結果、観光系のInstagramフォロワー数が増加した。 アフターコロナを経て観光客のニーズや傾向は大きく変化し、町単独での取り組みには限界があることから周辺自治体との協力体制をとりツアーなどを実施したが、内容は観光だけでなく農業体験などを盛り込んだメニューで、観光を切り口にその後の移住・交流・関係人口などの増加に繋がることを目指す。 道の駅については、町の中心で交流の拠点として定期的なイベントの開催や物産販売などを積極的に実施してきたことから、現在整備中の公園が完成する際には、一体的に管理が行えるよう体制を整える必要がある。 令和7年度途中で営業終了したふれあいの里さかもとについては、施設の活用も含めた今後の方向性を検討する必要性がある。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 4				地域力の高いまちづくり				基本施策 1				地域福祉の推進						
1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																		
①支え合い・助け合いを担う人づくり ②支援が必要な人を支える地域づくり ③適切な支援へつなげる仕組みづくり	施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値		
			年度		年度		年度		年度					年度		年度		
	指標 1	地域コミュニティ活動参加者数		120人	R1	5年間で1,500人	R7	5年間で964人	R7	○	64.3%	指標 1	心配事相談件数		10件	R6	13件	R12
	指標 2	ボランティア団体の活動件数		164回	R1	5年間で900回	R7	5年間で1,069回	R7		118.8%	指標 2	民生委員活動における相談・支援件数		45件	R6	57件	R12
	指標 3	成年後見制度の相談件数		2件	R1	5年間で10件以上	R7	5年間で34件	R7		340.0%	指標 3	成年後見制度活用件数		13件	R6	19件	R12
指標 4	生活困窮者自立支援事業の利用者数		8件	R1	12件	R7	21件	R7		175.0%								
2 事業の実施状況																		
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業								
(1) 社会福祉協議会活動事業		勝浦町社会福祉協議会が行う事業等に要する経費について、勝浦町がその一部を補助することにより地域社会における福祉の向上を図る。		施設介助ボランティア 延べ 215人 高齢者・障害者スポーツ大会 85名 福祉バスの利用 38回 制服リユース事業 提供 13件 受取 20件						・ 社会福祉協議会活動事業、社会福祉事業 ・ 民生委員活動事業 ・ 権利擁護支援事業								
(2) 在宅支援事業		高齢者福祉の増進及び公共交通体制の整備により、ひとり暮らし高齢者の急病や災害時の緊急時に迅速かつ適切な対応、自ら自動車の運転ができない高齢者の生活行動範囲の拡大、自立した生活を支援し高齢者の生活の質の向上を図る。		緊急通報設置数 6名（固定電話4、携帯電話2）														
(3) 民生委員活動事業		地域において福祉に関する各種相談や支援を行う重要な役割を担っている民生委員・児童委員の活動を支援し、活動の円滑化を図る。		・ 一人暮らし高齢者等の見守り、交通安全運動、児童の見守り、施設訪問 民生委員 24名（担当地区16）、主任児童委員 2名														
(4) 権利擁護支援事業		高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を送ることができるよう、高齢者の権利擁護を実現させることを目的とする。		・ 専門的知識が必要な相談や的確な助言を行ってもらう他、緊急的・機動的な介入支援が必要とされる場合、課題解決に向けて専門職員と同行訪問による当事者への面談を行う。 ・ 年6回の定例検討会や個別支援会議における助言等 ・ 研修会やセミナー等における講演（権利擁護の意識啓発） ・ 成年後見制度利用促進に関する支援（マッチング等の支援など） ・ 町長申立等の権利擁護に関する相談														
3 基本施策全体の総合評価		在宅支援事業で緊急通報設置数の伸び悩みがあったものの、権利擁護支援事業相談件数において目標値を大きく上回り計画どおりに実施され成果をあげている。																

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 4	地域力の高いまちづくり	基本施策 2	高齢者福祉の推進
--------	-------------	--------	----------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①介護予防・日常生活支援の推進 ②地域包括ケアの充実 ③認知症施策の推進	指標 1	要介護（要支援）認定率	20.0%	R1	19.0%	R7	21.4%	R7		112.6%	指標 1	65歳以上高齢者に占める要介護認定を受けている人の割合	21.1%	R6	22.8%	R12
	指標 2	いきいきわくわく講座参加者数	—	R1	5年間で900人	R7	5年間で909人	R7	○	101.0%	指標 2	在宅サービス受給率	62.9%	R6	58.9%	R12
	指標 3	介護給付費適正化に関して取り組んでいる事業数（主要5事業のうちの事業数）	2事業	R1	4事業	R7	3事業	R7		75.0%	指標 3	75歳以上の後期高齢者に占める認知症高齢者の割合	19.9%	R6	19.0%	R12
	指標 4	認知症サポーターの延べ人数	1,039人	R1	1,350人	R7	1,172人	R7		86.8%						
	指標 5	通いの場の数	—	R1	4箇所	R7	2箇所	R7		50.0%						
	指標 6	シルバー人材センターの就業実数	122人	R1	160人	R7	95人	R7		59.4%						
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的		主な事業内容と実施結果								後期計画で取り組む主な事業					
(1) 介護予防・日常生活支援の推進	高齢者がいつまでも健康でいきいきとした生活が送れるよう、健康づくり、介護予防を推進		・いきいき百歳体操 実施回数12回 参加者数のべ81人 ・いきいき元気教室 実施回数12回 参加者数のべ140人 ・パワーアップ教室 実施回数12回 参加者数のべ35人 ・高齢者の保健事業（健康教室） 実施回数1回 参加者数25人 ・地域介護予防活動支援事業（サロン活動） 実施日数6日 参加者数のべ172人 ・地域介護予防活動支援事業（にこにこ体操） 実施日数23日 参加者数のべ234人 ・健康福祉まつり 開催日R7. 10. 18 参加者数190人 ・高齢者健康づくり推進事業（みかんの郷） 利用者数のべ2,017人 ・通所型介護予防事業（みかんの郷） 利用者数のべ418人 ・訪問型介護予防事業 利用者数のべ0人 ・スマホ教室 実施回数12回 参加者のべ46人								・各種団体と連携した介護予防教室の開催 ・高齢者の保健事業（生活習慣病重症化予防、フレイル予防等） ・地域ケア会議等による関係機関との連携 ・配食サービス ・緊急通報体制等整備事業 ・認知症ケアパス、認知症サポーター養成講座、ぽかりんカフェ（認知症カフェ）					
(2) 地域包括ケアの充実	予防・介護・生活支援等が切れ目なく提供される域包括ケアシステムを構築し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が継続できるようにする。		・勝浦町地域包括支援センターの設置運営 1ヵ所 ・配食サービス 利用者数実15人 配食数1,822食 ・地域ケア会議 12回 ・成年後見制度利用支援 町長申立て1件 ・認知症サポーター養成講座 実施回数2回 参加者数38人 サポーター総数1,172人													
(3) 認知症施策の推進	地域全体で認知症の人を支える体制を構築し、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにする。		・認知症ケアパスの普及 R6で冊子作成、配布済 ・ぽかりんカフェ 開催回数12回 参加者数のべ71人 ・介護予防トレーニング 開催回数4回 参加者数56人 ・認知症サポート医との連携 0件													
3 基本施策全体の総合評価			町全体の人口減少や高齢化もあり、指標によっては目標達成状況が芳しくないが、高齢者の教室参加者増や認知症サポーターが順調に増えていることから一定の成果をあげているといえる。													

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 4	地域力の高いまちづくり	基本施策 3	障がい者福祉の推進
--------	-------------	--------	-----------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①インクルーシブ社会の実現に向けた取組の推進 ②相談体制と福祉サービスの充実 ③バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	指標 1	障がい者支援施設からの地域生活移行者数	—	R1	1人	R7	0人	R7		0.0%	指標 1	サルビア作業所利用者数	12人	R6	15人	R12
	指標 2	就労移行支援事業利用者数	4人	R1	5人	R7	1人	R7		20.0%	指標 2	障がい者相談支援事業所等への相談件数	205件	R6	230件	R12
	指標 3	障がい福祉サービス利用のための計画相談支援の利用者数	37人	R1	50人	R7	84人	R7		168.0%	指標 3	住民の障がいへの理解促進に関する啓発活動	1回	R6	3回	R12
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業							
(1) 地域生活支援事業の充実	地域の特性や利用者の状況に応じ、柔軟な形態により事業を効果的・効率的に実施し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする。		・相談支援事業 ・成年後見制度利用支援事業 ・意思疎通支援事業（手話通訳・要約筆記派遣事業） ・移動支援事業（外出時の円滑な移動の支援を行う：実利用者数27人） ・地域活動支援センター（サルビア作業所の運営等） 【給付事業】 ・日常生活用具給付等事業 ・日常生活支援						・移動支援事業 ・手話通訳・要約筆記者等派遣事業 ・障がい児通所交通費支援事業、障がい児通所支援副食費助成事業							
(2) 身体・知的障害者相談員や相談支援事業所、ピアカウンセリング等の相談窓口の周知	相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行い、障害の有無にかかわらず安心して暮らすことのできる地域社会の実現		相談支援の周知 1回 相談支援事業利用者人数 35人													
(3) 住宅改造助成制度	在宅の重度身体障害者が、自己の身辺処理等の日常生活動作を他人の介助に依存する状況からの脱却		制度の周知等 2件 申請者 0件													
3 基本施策全体の総合評価		目標達成状況が芳しくないものの、町社協や専門機関への委託で相談窓口は機能しており利用者数について一定の成果がでていているといえる。今後、利用実績の低い事業について、より効果的な制度周知を進める必要がある。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 4				地域力の高いまちづくり				基本施策 4								子育て支援の推進			
1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																			
①就学前教育・保育の充実 ②地域子ども・子育て支援の充実 ③妊娠・出産期から子育て期までの切れ目のない健康支援 ④子ども・子育てにやさしい地域社会づくり	施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値			
				年度		年度		年度						年度		年度			
	指標 1	保育園の待機児童数		0人	R1	0人	R7	0人	R7		100.0%	指標 1	待機児童数		0人	R6	0人	R12	
	指標 2	放課後児童クラブの待機児童数		0人	R1	0人	R7	0人	R7		100.0%	指標 2	子育て支援拠点利用率		92%	R6	100%	R12	
	指標 3	勝浦町子育て交流支援センターを活用した子育て相談支援事業相談件数		48件	R1	5年間で365件	R7	5年間で206件	R7	○	56.4%	指標 3	適正な体重管理ができている妊婦の割合		60%	R6	100%	R12	
	指標 4	乳幼児健康診査未受診児の実態把握率		100%	R1	100%	R7	100.0%	R7		100.0%	指標 4	産後ケア（訪問型）利用率		80%	R6	100%	R12	
	指標 5	母子福祉年金申請割合		89.2%	R1	100%	R7	85.0%	R7		85.0%								
指標 6	住民満足度（子育て支援に満足していると思う保護者（小学生）の割合）		31.0%	R1	50.0%	R7	33.9%	R5	○	67.8%									
2 事業の実施状況																			
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業								
(1) はぐくみクラブ運営事業		保護者の不安や疑問を解消し、安心して妊娠、出産、子育てできる環境と寄り添った子育て支援を図る。		・毎週金曜日開催の子育て支援事業等に支援員を配置し相談事業実施 ・講師を招いての親子講座実施（親子リトミック・親子ヨガ、ベビーマッサージ、抱っこ紐教室、音楽会、骨盤ケア教室、わかばちゃん） ・毎週土曜日に子どもの英会話教室開催							・地域子育て支援拠点事業、保育等促進事業 ・子育て短期支援事業、延長保育事業、保育等促進事業、病児・病後児保育事業 ・子育て総合支援事業、放課後児童健全育成事業 ・子育て交流支援センター事業、ファミリー・サポート・センター事業 ・産後ケア事業、子育て世帯訪問支援事業 ・不妊治療不育症検査治療費助成事業、産前産後ケア事業 ・妊婦と子どものインフルエンザ予防接種助成 ・子どもはぐくみ医療費助成事業 ・こども家庭センター ・ひとり親家庭福祉年金、ひとり親家庭等医療費助成事業 ・在宅育児支援事業								
(2) 子どもはぐくみ医療費助成事業		子どもが経済的理由で病院にかかれないことをなくすことにより、子どもの保健の向上と福祉の増進を図る。		医療費助成件数 10,845件 重症化、死亡 0件															
(3) 妊娠・出産期の支援の充実		子育て世代包括支援センターを開設し、妊産婦や乳幼児等に対して切れ目のない支援を提供することで、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図ること。		令和7年度から「子ども子育て支援法」に基づく地域子ども・子育て支援事業で実施 ・助産師による産後ケア事業（訪問型）（11人 延べ23人） ・助産師による産後ケア事業（デイサービス型）（8人 延べ11人） ・作業療法士による産後ケア事業（16人 延べ44人） ・管理栄養士による産後ケア事業（18人 延べ75人）															
(4) ひとり親家庭等医療費助成事業		ひとり親家庭の経済的負担軽減		ひとり親家庭の方が病院にかかったときに、保険医療費の自己負担分の一部について助成 助成対象者 71名 医療費助成件数 57件															
3 基本施策全体の総合評価		就学前の子育て支援に満足していると思う保護者の割合は、36.9%と小学生の保護者よりも高く、就学前の支援については充実しており成果が出ている。小学生の保護者の住民満足度数値は令和5年度のアンケート結果の数値であり、医療費助成の制度拡大により就学後の支援についても充実が図られている。																	

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 4	地域力の高いまちづくり	基本施策 5	勝浦病院の機能の充実
--------	-------------	--------	------------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①勝浦病院の機能向上 ②医療・介護等の連携強化 ③勝浦病院会計の健全化 ④救急医療体制の充実	指標 1	医師確保	—	R1	1人	R7	0人	R7	○	0.0%	指標 1	常勤医師数	4人	R6	5人	R12
	指標 2	医業収支比率	81.1%	R1	90.0%	R7	66.3%	R7	○	73.7%	指標 2	病床利用率（全体）	65.7%	R6	80.0%	R12
	指標 3	他院等への派遣（医師派遣・看護師研修派遣等）	1人	R1	毎年1人以上	R7	1人	R7		100%	指標 3	通院支援利用患者延べ数	0人	R6	150人	R12
	指標 4	在宅復帰率（福祉施設含む）	77.0%	R1	85.0%	R7	78.6%	R7		92.5%	指標 4	医業収支比率	76.4%	R6	84.0%	R12
	指標 5	救急患者（救急車）勝浦病院受入数 受入患者数/全搬送数	28.0%	R1	33.0%	R7	32.3%	R7		97.9%	指標 5	勝浦病院の救急患者（救急車）搬送受入率	31.5%	R6	33.0%	R12
	指標 6	病床利用率（現在60床、令和4年から50床の予定）	62.2%	R1	85.0%	R7	59.8%	R7		70.4%						
2 事業の実施状況																
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業					
(1) 医師確保事業		勝浦病院の医師の高齢化が進む中で次世代の医師確保を目指す。		・ 特別講演会開催 ・ 徳島大学医学部学生との現地実習 ・ 病院周辺の環境整備として花壇の手入れ等 ・ 病院ロビーでのクリスマスコンサート開催 ・ 病院ロビーへクリスマスツリーやひな人形の飾りつけ							・ 地域医療を考える会事業 ・ 勝浦病院医療機器等購入 ・ 通院患者送迎事業 ・ へき地拠点病院運営事業 ・ 医師確保事業 ・ 救急（軽症・中等症）患者の受け入れ、夜間休日総合相談					
(2) 救急医療体制の充実		診療時間外での救急医療体制の確保		・ 救急医療対策在宅当番医制運営事業（小松島市医師会） ・ 病院群輪番制病院運営事業（阿南医療センター、原田病院） ・ 救急医療体制の周知 救急の日、#8000（小児救急電話相談事業）の周知啓発 夜間・休日救急当番 広報周知 救急の日 9月号												
3 基本施策全体の総合評価		県内医学部学生との定期的な交流や、地域住民へ地域医療の必要性和重要性を広く周知するため「勝浦の地域医療を考える会」と勝浦病院、また町が連携して取り組みを行い将来的な医師確保に繋がるよう事業を実施してきたが、現在のところ医師確保には至っていないことから今後に向けた大きな課題と捉えている。病院存続のため、医師確保に向け、粘り強く進める必要がある。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 4	地域力の高いまちづくり	基本施策 6	健康づくりの推進
--------	-------------	--------	----------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①予防を重視した健康づくりの支援 ②特定健診受診率の向上 ③健康相談の充実	指標 1	特定健診受診率と特定保健指導の実施率（国民健康保険加入者）	特定健診受診率 48.9% 特定保健指導実施率 72.9%	R1	特定健診受診率 65.0% 特定保健指導実施率 80.0%	R7	特定健診受診率 54.6% 特定保健指導実施率 95.1%	R7		84.0% 118.9%	指標 1	健診受診者のうちメタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少	29.1%	R6	26.2% R12	
	指標 2	がん検診精密検査受診率	91.2%	R1	100.0%	R7	95.0%	R7		95.0%	指標 2	特定健診受診率	55.8%	R6	60.0% 以上 R12	
	指標 3	こころの健康づくりに関する啓発の回数	2回	R1	5年間で 15回以上	R7	5年間で 28回	R7		186.7%	指標 3	がん検診精密検査受診率	90.4%	R6	100.0% R12	
											指標 4	自殺死亡率の減少（10万人対）	23.76	R6	0.00 R12	
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的	主な事業内容と実施結果								後期計画で取り組む主な事業						
(1)子どもの生活習慣病予防事業（ふれあい教室）	ふれあい教室を実施し、子どもたちに「食」について学ぶ機会を提供することで、食に関する知識や食を選択する力を身に付けてもらうこと。	愛育班協力のもと、各地区の子どもと保護者、地域住民を対象に調理実習や試食、食育・健康づくりに関連した話、食事・生活習慣に関するアンケートなどを実施								・重症化予防の取組（糖尿病性腎症、脳血管疾患、虚血性心疾患） ・食育の推進、生活習慣病予防に関する取組 ・早期発見に向けた取組（各種がん検診）等健康増進事業 ・特定健診受診率向上、要精密者への受診勧奨 ・母子保健事業の推進（妊娠期から子育て期への切れ目ない相談事業の推進） ・高齢者の健康相談 ・心の健康づくりに関する取組（自殺予防含む）						
(2)早期発見に向けた取組（各種がん検診）	各種成人検（健）診を実施、がん等の病気の早期発見・早期治療につなげる。 個々の健康問題解決のため、健康教室、健康相談、訪問指導を実施する。	R7実績数値 ・各種がん検診等受診者数 胃がん検診 バリウム103人内視鏡98人（11.0%）、肺がん432人（12.8%）、大腸がん424人（12.6%）、子宮頸がん192人（16.0%）、乳がん152人（16.0%）、骨粗鬆症116人、肝炎ウィルス7人、歯周病検診20人 ・新たなステージに入ったがん検診 未受診者への受診勧奨910通、無料クーポン利用者（乳がん3人、子宮がん1人） ・健康教室4回、健康相談29回														
(3)自殺予防への取り組みに関する啓発普及	こころの健康づくりや自殺対策予防等の内容のパンフレットを配布し、町民自身が心の不調に気付けるよう啓発普及する。	・こころの健康づくりや自殺予防の啓発普及 9月自殺予防週間、3月自殺予防月間の広報周知、イベントを通じての啓発普及等 ・自殺対策計画策定 ・徳島県自殺予防協会への負担金														
3 基本施策全体の総合評価		健診の受診率は目標値の達成には至らなかったが順調に伸びており、特定保健指導実施率も高く健康づくり推進につながっている。受診率は年代により偏りがあるため、若い世代への勧奨は進める必要がある。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 4				地域力の高いまちづくり				基本施策 7				防災体制の推進				
1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①行政の災害対応能力向上 ②関係機関や民間団体との連携 ③地域、住民の防災意識の向上	指標 1	災害対応関連の資格取得率	45. 0%	R1	80. 0%	R7	71. 4%	R7		89. 3%	指標 1	避難所環境整備率	65%	R6	100%	R12
	指標 2	災害協定数	29件	R1	35件	R7	38件	R7		108. 6%	指標 2	個別避難計画作成率	58. 26%	R6	100%	R12
	指標 3	防災訓練参加率	64. 4%	R1	70. 0%	R7	58. 5%	R7		83. 6%	指標 3	防災協定締結数（累計）	26件	R6	30件	R12
	指標 4	防災講習会の開催回数	1回	R1	5年間で10回	R7	5 年間で 6 回	R7	○	60. 0%	指標 4	住民防災訓練参加率	58%	R6	70%	R12
2 事業の実施状況																
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業						
(1) 自主防災組織の活動支援		自主防災組織の活動を支援し、地域における防災意識の向上を図る。		・ 自主防災組織率100%、各活動に支援（補助金等）実施 ・ 自主防災組織連絡協議会での講演会、訓練実施						・ 県単急傾斜地崩壊対策事業、急傾斜地崩壊対策事業 ・ 災害対策事業 ・ 消防事業 ・ 河川維持事業 ・ 災害時要配慮者支援事業 ・ Jアラート 災害対策事業						
(2) 行政の災害対応能力向上		平時から、災害被害を未然に防ぐ防災及び災害被害を最小限に抑える減災に対する取組意識の向上と、災害時における対応能力の向上及び環境整備		・ 防災監の雇用による災害対応能力の向上 ・ 災害対策本部の機能強化 ・ 職員の防災能力強化のための防災士資格取得												
(3) 災害に強い勝浦町事業		大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な地域づくりを推進すること。		・ 防災フェス開催による意識の向上 ・ トイレカーや給水車両の導入、罹災証明システムの構築												
3 基本施策全体の総合評価		災害協定について、目標をやや上回る38協定の締結となった。防災意識向上が徐々に浸透しており、防災組織の維持もできている。引き続き、町職員の防災意識を高め、行政の災害対応能力向上に努める必要がある。														

第 6 次総合計画 前期評価調書

基本目標 4	地域力の高いまちづくり	基本施策 8	防犯・交通安全・消費者保護の推進
--------	-------------	--------	------------------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																		
①防犯活動の推進 ②交通安全活動の推進 ③消費者保護の推進	施策		指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価 指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
					年度		年度		年度						年度		年度	
	指標 1	防犯カメラの設置	1施設	R1	3施設	R7	5施設	R7		166.7%			指標 1	県内における勝浦町の認知犯罪比率	0.7%	R6	0.0%	R12
	指標 2	交通死亡事故ゼロの継続	1,000日以上 継続中	R1	継続	R7	R3～R7 継続	R7		100.0%			指標 2	交通事故死亡ゼロの継続	死亡事故 0件	R6	死亡事故 0件	R12
	指標 3	地域で活動する消費生活協力団体の 確保	—	R1	5団体	R7	8 団体	R7		160.0%			指標 3	消費者保護に関する啓発活動回数	4回	R6	10回	R12
													指標 4	小松島消費生活センターで把握してい る勝浦町の相談件数	18件	R6	10件	R12
2 事業の実施状況																		
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業							
(1) 防犯活動の推進		地域の中で起こりうる犯罪を防止するため、犯罪 が発生しにくい環境を整備することで、安心して 暮らせる地域社会の実現を図る。		・ 防犯カメラの設置 ・ 防犯灯のLED化							・ 防犯活動の推進 ・ 交通安全推進事業 ・ 道路橋りょう維持事業、町単独道路改良事業 ・ 消費者保護対策事業							
(2) 交通安全推進事業		交通安全に対する意識を普及し、交通安全を促進 する。		・ 交通安全に関する事業を実施している団体への補助金交付 ・ 広報やホームページへの啓発記事の掲載 （春・秋の全国交通安全運動、交通マナーアップ推進月間、年末年始等） ・ 交通安全啓発活動														
(3) 消費者保護対策事業		消費者被害の未然防止や拡大防止を図る。		・ 消費者安全確保地域協議会会議開催 ・ 広報やホームページによる被害啓発キャンペーン ・ 東部地区消費者のつどい開催 ・ 消費生活協力団体8団体を確保した														
3 基本施策全体の総合評価		交通安全推進については、補助金交付団体等との連携による交通安全キャンペーンの実施や広報及びホームページを活用した交通安全啓発により交通死亡事故ゼロを継続することができた。消費者保護対策については、消費生 活協力団体について目標数値を上回る8団体の確保ができた。また、広報やホームページ、街頭キャンペーンによる消費者被害啓発や小松島消費生活センターへの相談事業委託により消費者被害の未然防止に努めた。 安心して暮らせる地域社会の実現を図るため、様々な方法を検討しながら、引き続き防犯カメラの設置に取り組む。																

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 5		まちづくりを強く推進する町政基盤づくり				基本施策 1		協働のまちづくりの推進							
1 総合計画に記載した数値目標の実現状況															
施策		指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値	目標値
				年度		年度		年度						年度	年度
①住民参画・協働によるまちづくりの推進 ②住民活動の支援 ③行政職員の意識啓発		指標 1	特定地域づくり事業協同組合の設立	—	R1	設立	R7	R5. 7設立	R7	○	100. 0%	指標 1	町内の自治会数の維持	16地区	R6 16地区維持
2 事業の実施状況															
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業					
(1) 特定地域づくり事業協同組合事業		人口急減地域の担い手不足の解消と、地方での人材確保により、移住・定住人口の増加をめざす。		・令和5年度に「阿波かつうらワークス」を設立し、令和7年末現在の派遣先組合員数7団体、派遣職員2名でマルチワークに従事						・団体の育成支援 ・自治会への支援、地区統合補助金 ・イベント開催支援					
(2) 自治会への支援		地区運営の支援、町との連携		・地区運営活動補助金の交付による支援（全地区）											
(3) 職員の人材育成		町人材育成基本方針に掲げる人材育成の取組を推進することで、役場の組織力を強化し、住民サービスの向上と地域の活性化を図り、住民満足度（ずっと住み続けたいと思う人の割合）の向上につなげる。		・町人材育成基本方針に基づき職員研修を実施 ・県自治研修センター主催の研修受講（R7実績43人） ・課長補佐級職員の他自治体視察研修（R7実績4人） ・人権研修、県市長会・町村会主催の若手職員研修参加（1人）等											
3 基本施策全体の総合評価		個々の部分でコロナによる影響もあったが、「特定地域づくり事業協同組合」を設立するなど、主たる部分では計画どおりに成果をあげている。また、自治会への補助金や集会施設の設備充実などの支援を継続し、自治会数の維持を図る。													

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 5	まちづくりを強く推進する町政基盤づくり	基本施策 2	男女共同参画社会の推進
--------	---------------------	--------	-------------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																	
①男女共同参画意識の形成 ②あらゆる分野における男女の活躍推進	施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
		指標 1	男女共同参画における研修会の開催	1回	R1	毎年1回以上	R7	毎年1回開催	R7		100.0%	指標 1	男女共同参画に関する研修会参加者の男女共同参画に対する理解度	—	R6	80%	R12
		指標 2	広報誌等による住民への啓発	1回以上	R1	毎年2回以上	R7	毎年2回以上	R7		100.0%	指標 2	各種協議会等における女性委員数の割合	36.9%	R6	45.0%	R12
		指標 3	各種協議会等における女性の委員数の拡大	29.2%	R1	33.3%	R7	37.5%	R7		112.6%						
2 事業の実施状況																	
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果							後期計画で取り組む主な事業						
(1) 男女共同参画事業		男女共同参画社会の実現を目指すために、男女共同参画推進の指針となる「勝浦町男女共同参画計画」を策定する。		・ 男女共同参画関連講演会の開催 ・ ワーク・ライフバランスの推進や女性活躍を積極的に進める取り組みなどの啓発							・ 男女共同参画事業 ・ 女性活躍を積極的に進める取り組み支援						
3 基本施策全体の総合評価		R3年度策定の「勝浦町男女共同参画基本計画」に沿って各種事業を推進してきた。各種協議会等における女性委員数は増加しているが、分野によっては男女比に大きな偏りがある。多様な視点や意見を各分野の政策・方針決定に反映させるため、今後も積極的な女性の登用を推進していく必要がある。加えて、講演会の開催や広報・ホームページ等を通じた継続的な情報発信により、引き続き、男女共同参画に関する住民意識の醸成・啓発を継続して行なう必要がある。															

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 5	まちづくりを強く推進する町政基盤づくり	基本施策 3	広報・広聴の充実
--------	---------------------	--------	----------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
				年度		年度		年度				年度		年度		年度
①情報の整理と発信力の強化 ②情報の共有 ③広聴機能の充実	指標 1	ツイッターによる情報発信の推進活動	281件	R1	800件	R7	362件	R7		45.3%	指標 1	町ホームページへのアクセス件数	61,000件	R6	70,000件	R12
	指標 2	住民アンケートの実施	—	R1	毎年3回	R7	(R3～R7) 5回	R7	○	33.3%	指標 2	パブリックコメント実施率	66%	R6	90%	R12
2 事業の実施状況																
事業名		事業目的		主な事業内容と実施結果						後期計画で取り組む主な事業						
(1) 広報広聴モニター事業		住民と行政が町政の情報を共有しながら相互理解を深めるとともに、住民の町政への参画を促し、連携・協働によるまちづくりをより一層推進する		・ アンケート事業については令和6年度で終了 ・ 情報を的確に提供するため、地区やニーズを設定可能な「阿波かつうら情報アプリ」による情報発信に切り替えを行った。						・ 広報映像放送事業、ポータルアプリ・多様な情報配信基盤整備事業 ・ 広報公聴アンケート事業						
3 基本施策全体の総合評価		令和5年度から新たに「一斉情報配信システム」を導入し、従来のX（旧ツイッター）による発信に加え、メール・LINE・アプリを配信ツールに追加した。その結果、各ツールの登録者数は令和5年度末の約500人から、令和8年7月末には約1,300人まで大幅に増加しており、情報発信についてのインフラ整備は進展している。一方、広聴機能の充実については遅れが生じている。前期計画期間中に終了した住民アンケート事業に代わる新たな公聴機能の検討が必要であり、「情報アプリ」の活用も踏まえ、寄せられた意見等に対する適切な反映プロセスの見直しなど、IT技術の発展や現状に即した形へと再構築を図る必要がある。														

第6次総合計画 前期評価調書

基本目標 5	まちづくりを強く推進する町政基盤づくり	基本施策 4	行財政改革の推進
--------	---------------------	--------	----------

1 総合計画に記載した数値目標の実現状況																
施策	指標		基準値		目標値		前期実績		重要業績評価指標 (KPI)	達成率	後期計画の評価指標		基準値		目標値	
			年度		年度		年度						年度			
①行政組織の効率化 ②情報公開と個人情報の保護 ③公共施設等の総合的かつ計画的な管理 ④健全な財政運営の推進	指標 1	職員研修受講率（係長以下事務職員）	89.0%	R1	100.0%	R7	84.0%	R7		84.0%	指標 1	行政手続きオンライン化件数	30件	R6	40件	R12
	指標 2	住民満足度（ずっと住み続けたいと思う人の割合）	41.6%	R1	60.0%	R7	70.0%	R7	○	116.7%						
	指標 3	財政調整基金残高	1,956百万円	R1	1,710百万円	R7	2,606百万円	R7		152.4%						
2 事業の実施状況																
事業名	事業目的		主な事業内容と実施結果								後期計画で取り組む主な事業					
(1) 役場の組織力強化と効率化	町人材育成基本方針に掲げる人材育成の取組を推進することで、役場の組織力を強化し、住民サービスの向上と地域の活性化を図り、住民満足度（ずっと住み続けたいと思う人の割合）の向上につなげる。		・ 人事評価支援（目標設定等） ・ 人事評価システムを活用した人事評価の実施 ・ メンタルヘルス相談（基本毎月2時間） ・ ストレスチェックを委託により実施、分析、安全衛生委員会報告								・ DX推進支援事業、基幹系業務システム標準化対応事業 ・ 加入者系ファイバ網情報通信設備更改事業、行手続きオンライン化 ・ 地籍調査終了後の登記地籍での課税への移行、収納率の向上					
(2) 情報公開の実施	町の保有している公文書及び個人情報等について、職員等の知識及び理解度向上を図り、適切な取扱及び審査を実施する		・ 個人情報取扱担当者の自己点検・内部監査実施 ・ 職員対象の個人情報・特定個人情報に関する研修実施 ・ 情報公開審査会・個人情報保護審査会開催 ・ 実績公表													
3 基本施策全体の総合評価		新型コロナ対応やそれ以降の業務量増加等により、職員の能力向上・職場環境改善の推進には影響が出ているが、健全な財政運営の推進については、十分な成果をあげている。人口や労働人口は減少するものの、高度化・多様化する住民ニーズに対し、住民がずっと住み続けたいと思えるまちづくりを推進するためにも継続的な行政組織効率化、健全な財政運営に取り組む必要がある。														